

## 事業再評価シート

<b>事業名</b>	地域連携道路事業		
<b>箇所名</b>	一般国道447号 真幸工区	<b>市町村名</b>	えびの市

(上段は前回、下段は今回)

<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 交付金 <input type="checkbox"/> 県単			
<b>事業期間</b>	<b>採択年度</b>	<b>再評価年度</b>	<b>目標完成年度</b>	
	H14	R5	R12	
		R7	R12	
<b>事業進捗</b>	<b>全体事業費 (百万円)</b>	<b>既投資額 (百万円)</b>	<b>進捗率 (%)</b>	
	20,500	7,886	<b>事業費</b>	<b>用地</b>
	25,000	15,243	18.1	100.0
<b>再評価の概要</b>	<b>対象選定理由</b>		<b>事業効果 (B/C)</b>	<b>対応方針原案</b>
	社会経済情勢の変化		1.0	継続
	社会経済情勢の変化		1.0	継続

<b>全体計画</b>	<p>一般国道447号は、えびの市を起点に、鹿児島県伊佐市を経て出水市に至る県際間の幹線道路であり、九州縦貫自動車道(えびのIC)と南九州西回り自動車道(出水IC)を東西に最短距離で結び、南九州圏域の交通ネットワークの一部を形成する重要な道路である。</p> <p>さらには、宮崎県及び鹿児島県の地域防災計画において、第2次緊急輸送道路に指定されており、防災上でも大変重要な路線である。</p> <p>県境部の現道部約9km区間は、道路幅員が狭小で線形不良区間が連続する交通の難所となっていることから、現在、宮崎県及び鹿児島県により整備を進めている。</p>
-------------	---

<b>事業概要</b>	<p>事業主体：宮崎県・鹿児島県</p> <p>延長 L=5,000m (うち宮崎県L=3,200m、鹿児島県L=1,800m)</p> <p>幅員 W=6.0(7.5)m</p> <p>トンネル L=2,354m (うち宮崎県L=1,842m、鹿児島県L=512m)</p> <p>橋梁 N=8橋 (うち宮崎県N=4橋、鹿児島県N=4橋)</p>
-------------	--

<b>事業目的</b>	<p>本工区を整備することで、国道447号が全線改良済みとなり、第2次緊急輸送道路及び国道268号の代替ルートとしての防災機能の強化、宮崎県えびの市から鹿児島県伊佐市及び鹿児島県出水市までの移動時間短縮による物流の効率化、えびの市京町温泉等の観光支援及び医療施設へのアクセス向上など、地域発展に寄与することを目的とする。</p>
-------------	--

#### 事業の進捗状況

##### ○現在の事業進捗

- ・事業進捗率：約61.0%（令和6年度末時点）  
主要構造物の進捗状況：橋梁4橋が完成  
トンネル1工区（延長850m）完成
- 供用済み延長：約1,000m
- ・今年度実施状況：トンネル2工区（延長992m）を施工中

#### 社会情勢等の変化

- 平成31年 3月：「道の駅」えびのがリニューアルオープン
- 令和 元年10月：消費税10%に引き上げ
- 令和 3年 1月：「えびのインター産業団地」造成工事完了
- 令和 5年12月：霧島連山・硫黄山の噴火警戒レベルが2から1へ引き下げ
- 令和 7年度の公共工事設計労務単価の伸び率は5%以上となり、  
単価の平均値は13年連続で上昇
- 建設資材の価格動向を示す建設資材物価指数は、8年連続で上昇

#### 事業効果の分析

##### ○費用対効果

費用対効果（B/C）は1.0である。

○当該区間を整備することで、えびのインター工業団地から鹿児島県伊佐市内までが約16分の短縮が図られ、物流の効率化・活性化及び地域生活支援が期待される。

また、当該区間は第2次緊急輸送道路に指定されていることから、整備を行うことで防災機能の強化に寄与する。

#### コスト削減

○本事業にて発生する建設発生土については、道路盛土材として再利用し、コスト削減を図っている。

#### 代替案の可能性

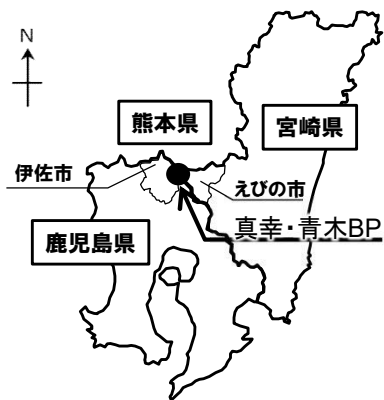
○交通ネットワークを形成する上でも最適なルートとなっており、また、用地買収も全て完了しており、現在施工しているトンネル区間を除く改良工事は概ね完成していることから、代替案の可能性はない。

#### 対応方針

継続

# 位置図

《位置図》



《平面図》

